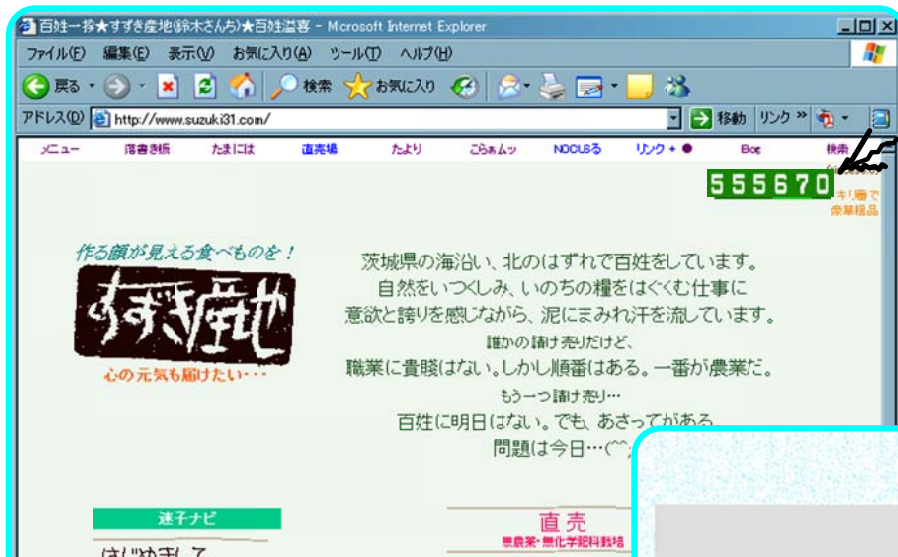


ホームページ10年

インターネットにホームページ「すずき産地」を開いて10年になります。近頃にわかにマスコミなどで世界と日本の食料危機が騒がれ出しました。でも、そんなの今に始まったことじゃないわい！
下記、立ち上げの最初から掲げているページを転載しておきます。



里のギャラリー ⑬



10年間で、のべ50万を超える方が訪れてくれています。先日、アクセスカウンターが“555555”に到達しました。

ホームページ「すずき産地」の立ち上げにあたって (1998年6月記)

こんな写真をご存じですか？



「ハゲワシと少女」という写真を覚えていますか？
飢えてかつきた少女を、ハゲワシがねらっているというショッキングな場面です。
撮影者はケビン・カーター。1994年のピューリツァー賞を受賞しました。
アフリカのスーダンという国で撮影されたものです。

このスーダンから日本は、ソルガムという穀物を輸入しています。
家畜の飼料にするためです。
ところがソルガムは、現地の人にとっては貴重な主食なのです。
輸入が始まったのが、なんと写真と同じ1994年からだといえます。

写真のハゲワシが日本人に見えてきませんか？

国内の農地を荒らしておいて、外国から農産物を買ひあさる日本。
食糧の輸入は、見方を換えれば飢餓の輸出にほかなりません。
ちょっとカネがあるからといって、そんなことが許されるのでしょうか。

毎日の仕事お疲れさま。
働いて、稼いで… 誰でも
額の多少はあれ貯金をしていると思います。
なにかしらの保険に入っている人も多いはず。
ともかくも、将来にそなえてのことですよ。

そこで、たずねてみたい。

たとえば10年後に、
あなたは何を食べていますか？
それは誰が作ったものですか？

日本人というのは、自分たちの食べ物を他の誰かが永遠に作ってくれると信じている世界でも唯一の国民だと、たしか作家の井上ひさしさんが語っていました。

わが国の食糧自給率は41%まで下がってしまっています。国民総人口に対する割合で計算すると、なんと7000万人分の食糧を外国から買ひ集めていることになります。こんな国は、世界のどこにもありません。

無関心なままで本当に大丈夫なのでしょうか。

また時間のあるときに、ぜひおいでください。
自分たちの食べ物のこと、そして
農業のことを一緒に考えてみませんか。